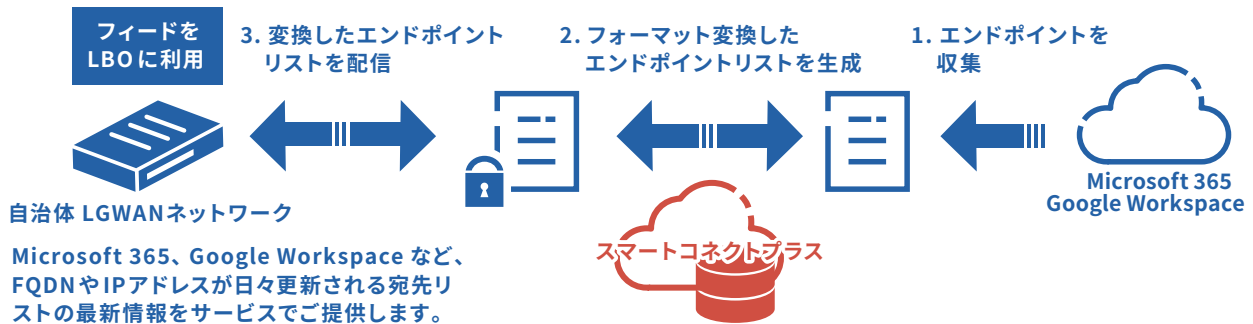


# スマートコネクトプラス

常に最新のエンドポイントリストで、  
安全なクラウドアクセスを提供。

## 01.スマートコネクトプラスとは

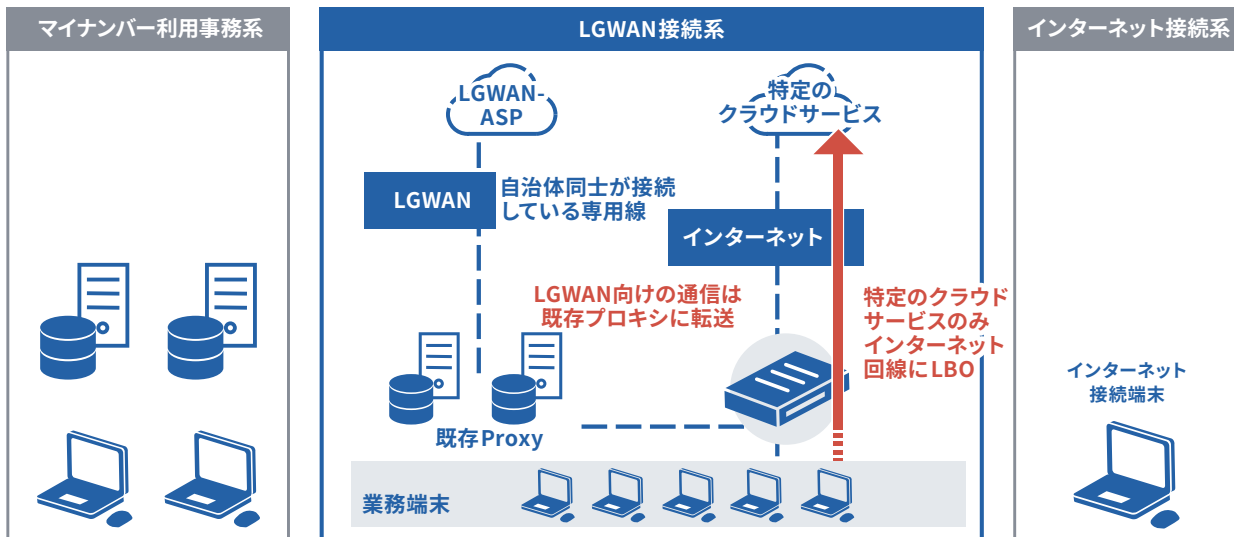
スマートコネクトプラスでは、Microsoft 365やGoogle Workspace等のSaaSクラウドサービスが提供しているエンドポイントリスト (FQDN/URL/IPアドレス) をお客様のネットワークデバイスが読み込めるフォーマットに変換し、配信するサービスを提供します。  
これにより、自治体LGWAN接続系から特定のクラウドサービスへ直接接続できるLBO (ローカルブレイクアウト) を実現することが可能です。



## 02.ローカルブレイクアウトとは

ローカルブレイクアウトを実装することで、負荷の多いMicrosoft 365やGoogle Workspace等のSaaSクラウドサービスだけを拠点から直接インターネットへ転送することができ、センターに集中していた通信を分散させることが可能です。

### 代表利用例 自治体強靱化α'モデル



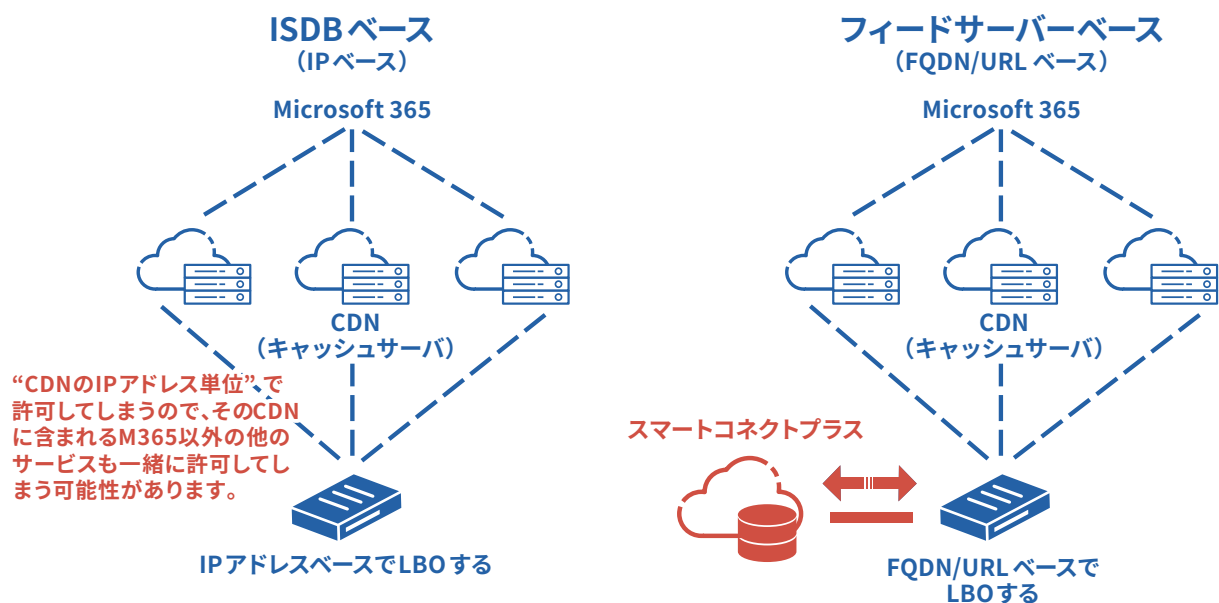
### 03.IPアドレスベースのローカルブレイクアウト

CDN(Content Delivery Network) を利用しているクラウドサービスでは、同じIPアドレスで複数のドメインが収容されるため、サービスの区別がつきません。

そのため、IPアドレスベースのトラフィック制御では、許可するべきではない宛先に接続が許可されてしまう可能性があります。

スマートコネクトプラスを利用することで、Microsoft 365やGoogle Workspace等のSaaSクラウドサービスが提供しているエンドポイントリスト (FQDN/URL/IP アドレス)を随時取得することができ、適切な宛先にローカルブレイクアウトを制御することが可能となります。

#### LGWAN 接続系



#### URL/FQDNを指定することで、よりピンポイントな制御が可能



IT管理者の負担を軽減



セキュリティの  
インシデントリスクを低減



トラフィックを最適化し  
パフォーマンス向上

